

- 画面のキャプチャー、録音はご遠慮ください。
- 説明会中はカメラとマイクはオフにしてください。
- 本説明資料は、後日ホームページに掲載いたします。
- ご質問は「質問内容」をチャットでご入力ください。
事務局から順次回答いたします。
- 本日全ての質問をお受けできない場合がございますが、ご了承ください。
- なお、チャットは本説明会の参加者全員が閲覧可能です。
- 以降のお問い合わせは、メールでお問い合わせください。

「風力発電等技術研究開発／洋上風力発電等技術研究開発／
次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究(浮体式洋上風力発
電の導入促進に資する次世代技術の開発)」

公募説明会資料

2026年5月11日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部

<目次>

1. 事業概要
2. 応募について
3. 委託先の選定について
4. 留意事項
5. 問い合わせ先

(1) 背景・目的

我が国においては、第7次エネルギー基本計画において再生可能エネルギーを主力電源として位置付け、その導入拡大を通じた温室効果ガス排出削減とエネルギー安全保障の確保を進めることが示されている。中でも洋上風力発電は、大量導入とコスト低減が同時に期待できる重要な電源であるとされている。また、洋上風力産業ビジョン(第2次)では、2040年までに15GW以上の浮体式洋上風力の案件形成目標が設定されており、2030年以降の本格的な導入拡大に向けた取組を進めていく必要がある。

特に浮体式洋上風力発電は、我が国周辺海域の水深条件や海象条件を踏まえると将来的な導入ポテンシャルが極めて大きい一方、欧州とは異なる厳しい気象・海象条件への適応、設置・施工・運転維持管理に係るコスト低減、安全性・信頼性の確保等が課題となっている。また、発電コストについても、着床式洋上風力に比べ依然として高水準にあり、技術的なブレークスルーと体系的なコスト低減が求められている。これらの背景を踏まえ、NEDOでは2024年度から2025年度にかけて、「TLP型ハイブリッド浮体式洋上風車支持構造物の開発」、「フルコンクリート製コンパクトセミサブ型浮体および大水深係留の技術開発」、「大型浮体式垂直軸型風車の実現性検証」、「コストミニマムを実現する風車一括搭載技術の開発」および「ダブルドーナツ・スパー型浮体式風力発電システムの研究開発」を進めてきた。

このような状況を踏まえ、本事業では、未だ検証されていない新しいテーマや追加的に検証が必要なテーマについて、浮体式洋上風力発電の商用化と国際競争力の確保を見据え、我が国特有の自然条件や社会的条件を踏まえた技術課題を体系的に整理するとともに、今後の導入拡大に資する次世代技術の実現可能性を検証することを目的とする。

(2) 事業内容

本事業では、2030年以降の更なる低コスト化の実現に向け、我が国周辺海域の気象・海象条件、水深条件等に適合した浮体式洋上風力発電技術について、安全性・信頼性・経済性の観点から技術的成立性の明確化を図る。また、その先の段階を見据えた技術課題や研究開発の方向性を整理・提示する。これらに係る具体的な内容は以下の通り。

・要素技術の検証

浮体構造、係留方式、施工方法、運転・維持管理手法等の未だ検証されていない新しいテーマや追加的に検証が必要なテーマについて、その実現可能性を精査・検証する。具体的には、セミサブ・鋼製浮体等先行して検討が進められている各種技術に比べたコスト低減効果の検証や、各種要素実験等を通じた性能・安全性・信頼性の試験・検証、当該新技術の設計・評価および認証取得を見据えた各種手法の開発等を行う。

・技術課題の整理及び実海域実証等次の段階に向けた計画の検討

要素技術の検証等を通じて得られた成果も活用しつつ、各種技術課題や商用化に向けた課題(基準化、認証取得に向けた課題や法規制等への対応の観点、事業性の観点等を含む)を明らかにするとともに、実海域実証等次の段階で必要な取組及びその具体的な内容(実施方法、スケジュール等)について検討を行う。

なお、上記の実施に当たっては、当該技術及びその商用化に造詣の深い外部有識者からなる技術委員会等を事業内で開催(事業期間中に計4回程度)し、事業の進捗・成果・課題およびリスク対応状況を定期的に確認することとする。

(3) 事業期間

2026年度～2027年度

(4) 事業規模

総額 29億円以内

採択予定件数は予算の範囲内で複数件とします。なお、本予算規模は社会・経済状況、政府の研究開発費予算の確保状況等によって変動することがあります。

① 応募要件

応募資格のある法人は、次の(1)～(7)までの条件、「基本計画」等に示された条件を満たす、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施(再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。)は、原則認めておりませんのでご留意ください。

- (1) 当該技術又は関連技術の研究開発の実績を有し、かつ、研究開発目標達成及び研究計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- (2) 委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- (3) NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。
- (4) 企業等が事業に応募する場合は、当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。
- (5) 研究組合、公益法人等が応募する場合は、参画する各企業等が当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有するとともに、応募する研究組合等とそこに参画する企業等の責任と役割が明確化されていること。
- (6) 複数の企業等が共同して事業に応募する場合は、実用化・事業化に向けた各企業等間の責任と役割が明確化されていること。
- (7) 本邦の企業・大学等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業・大学等(研究機関を含む)の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外の企業・大学等との連携が必要な場合は、国外の企業・大学等も参画する形で実施することができる。

②応募方法

提案書等の提出書類を準備し、以下の提出期限までに電子申請システム「Jグランツ」上で申請してください。なお、持参、郵送、FAX又はE-mailによる提出は原則受け付けません。

【提出期限】2026年5月29日(金)正午まで

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。

【提出先】Jグランツ公募ページ申請URL

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDYP6MAP?wfid=a0XJ2000006k5XbMAI>

【提出方法】

- 電子申請システム「Jグランツ」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロード
- 複数法人による共同提案を行う場合は、代表法人が提出書類を取りまとめの上、代表法人が申請
- Jグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「GビズIDプライムアカウント」または「GビズIDメンバーアカウント」が必要。GビズIDの取得は2週間以上かかる場合あり
- 申請内容や提出書類に不備がある場合は、修正等の対応をお願いする場合があります。
- その他GビズIDの取得やJグランツ利用・申請については以下のウェブサイトを参照。

【参考】NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について

https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html

【提出にあたっての留意事項】

- 提出書類は日本語で作成してください。
- 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- Jグランツ上の申請は、提出期限を厳守ください。提出期限までに申請完了できなかった場合は、応募は受け付けできませんので、余裕をもって提出してください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。
- 万が一、応募者の責に依らない理由(例:組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、Jグランツ等の外部システムの障害発生により申請ができない等)により、提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。
- Jグランツ上にアップロードするファイルは提出書類ごとに作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル(PDF、zip等)にはパスワードは付けないでください。
- アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 公正な審査を行うための利害関係の確認として、Jグランツ上で以下の項目について入力を求めていますので、あらかじめご了承ください。

(2) 審査基準

以下の基準に則り、審査を行います。

- i. 事業の適合性(本事業の目的・目標に適合しているか 等)
- ii. 開発の優位性(開発内容に新規性・優位性等があるか 等)
- iii. 計画の妥当性(達成目標が明確で、スケジュールが効率的・効果的か 等)
- iv. 実用化・事業化の取組(実用化・事業化のターゲットが明確で、それに向けた取組に実現性・実行性があるか、社会・経済への波及効果が期待できるか 等)
- v. 実施体制・能力(役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか 等)
- vi. 提案の経済性(予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等)
- vii. 総合評価

なお、採択審査にあたり、以下の要素で加点を行います。

- 女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)
- 中堅・中小・ベンチャー企業が直接委託先であり、研究開発遂行や実用化・事業化にあたっての重要な役割を担っている場合
- 若手研究者(40歳以下)が研究開発責任者若しくは主要研究者として実施体制に含まれ、当該研究者の実績や将来性等を加味した提案になっている場合

(4) スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月
公募期間	←————→				
書面審査			←————→		
採択審査委員会				▼	
契約・助成審査				←————→	

- 2026年4月27日 : 公募開始
- 2026年5月11日 : 公募説明会(オンライン)
- 2026年5月29日 : 公募締切
- 2026年6月下旬(予定): 採択審査委員会(外部有識者による審査)
- 2026年6月下旬(予定): 契約・交付審査委員会
- 2026年7月上旬(予定): 委託先決定
- 2026年7月下旬(予定): 公表
- 2026年8月頃(予定) : 契約

応募時の留意点や採択後の各種事務手続きなど、その他の重要事項や留意事項を「【別紙】その他重要事項・留意事項」にまとめて記載してありますので、応募にあたっては必ず事前にご一読ください。

<https://www.nedo.go.jp/content/800054125.pdf>

本公募の内容に関する質問等は本説明会で受け付けます。それ以降のお問い合わせは、2026年5月11日(月)から5月22日(金)の間に限り、以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。

ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

また、相談は先着順とし、件数多数の場合、ご要望の日時での相談等が実施できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

電子メール: floating-wind@nedo.go.jp

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部 風力・海洋ユニット
担当 成瀬、米倉 宛

ご参考:2024年度～2025年実施テーマ概要

「NEDO再生可能エネルギー分野成果報告会2025」
〈ポスターセッション〉の発表NO.1-4-1～1-4-5をご参考ください

リンク先

https://www.nedo.go.jp/events/report/ZZFF_100035.html#tbl8

ご応募、お待ちしております。